

令和7年度 第1回千葉市立博物館協議会

日時 令和7年10月3日（金）

13:30～15:00

場所 千葉市立郷土博物館 講座室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

（1）令和6年度の事業報告について

（2）その他

4 閉 会

3 議題

- (1) 令和6年度の事業報告について
→次ページから

- (2) その他

議題2 令和6年度の事業報告について

○加曽利貝塚博物館

1 入館状況

年度	開館日数（日）	来館者数（人）	備考
4年度	308	53,378	
5年度	309	56,395	
6年度	313	54,198	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曽利貝塚博物館の施設管理業務及び加曽利貝塚縄文遺跡公園の維持管理業務 ①警備・清掃業務委託 ②草刈業務委託 ③消防用設備等保守点検委託 他
	イ 施設修繕	5月 8月 12月 1月 3月	・合併浄化槽電気室扉修繕 ・便益施設男子便所洗面器排水金具修繕 ・消火栓設備修繕 ・北貝塚貝層断面観覧施設扉修繕 ・公園内電線管修繕
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の整理保管	通 年	資料は埋蔵文化財調査センターと共同で管理しており、相互の連携を踏まえて台帳の整理及び保管状況の確認などを随時実施。 ※第1・第3収蔵庫の解体に伴い、平成29年度に大半の資料を移動。現在、旧幸町第一小学校で約1600箱、埋蔵文化財調査センターで約120箱を保管。
	イ 資料の貸出	通 年	他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を実施。 ① 資料貸出 4件 399点 ② 写真貸出・掲載 22件 40点 ③ 資料館内利用 5件 347点
(3) 調査研究事業	ア グループ研究	通 年	加曽利E式土器に関する集成研究
	イ 個別研究	通 年	・加曽利貝塚等の出土土器の編年学的研究 ・遺跡保存に関わる実験的研究
	ウ 委託研究		・早稲田大学による地中レーダー探査
	エ 『貝塚博物館紀要』の発行	3 月	『貝塚博物館紀要』第51号の発行 A4判 47ページ p d f

			<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器の製作技法を探る（４）加曽利貝塚出土土器から見た“相似形土器”の広域展開—縄文後期～晩期土器に見る斉一性器形の実態— (戸村正己 埋蔵文化財調査センター) ・下総台地における縄文時代後期の漁撈活動—千葉市園生貝塚・内野第１遺跡の再検討— (坂本 匠 奈良文化財研究所) ・千葉市荒屋敷貝塚出土の動物遺体 (西野雅人 埋蔵文化財調査センター・裴亨坤・坂本 匠 奈良文化財研究所)
(4) 展示事業	ア 常設展	通 年	「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚を見る」 資料点数：295 点
	イ 企画展		
	「特別史跡加曽利貝塚 令和５年度発掘調査速報展」 (企画展示スペース)	3月19日(火)～ 6月30日(日)	令和５年９月～12月にかけて実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘の成果を紹介。 資料点数：36 点 入館者数：18,075 人
	初夏のパネル展 「加曽利貝塚E地点・B 地点発掘 100 周年記念パネル展」 (ミニ展示スペース)	4月2日(火)～ 7月28日(日)	大正13年、東京帝国大学人類学教室によって実施された加曽利貝塚の発掘から 100 年経つのを記念して加曽利貝塚の発掘調査について展示したパネル展。 パネル点数：15 点 入館者数：21,456 人
	日本考古学協会 研究発表関連展示 (常設展示室内)	5月28日(火)～ 9月22日(日)	日本考古学協会 2024 年度総会で行った研究発表セッション３「加曽利貝塚における最新の考古学調査・研究」の内容をパネル等で展示したもの。 資料点数：7 点 入館者数：14,841 人
	夏休み企画展「市原歴史博物館×加曽利貝塚博物館 2024—縄文時代の土偶の顔—」※市原歴史博物館連携企画展（企画展示スペース）	7月17日(水)～ 9月16日(月)	令和５年２月に締結した市原歴史博物館との連携協定の取り組みの一つとしての連携展示。今回は、市原歴史博物館の秋の企画展「埴輪」に関連付け、「土偶の顔」をテーマとして両館所蔵資料で構成。 資料点数：98 点 入館者数：8,035 人
	館蔵レプリカ展示	8月3日(土)～	博物館学芸員館務実習生による企画および展示。

	「加曽利でさがそう 縄文の木」 (ミニ展示スペース)	9月16日(月)、 3月18日(火)～ 3月30日(日)	実習成果を発表することを目的とし、加曽利貝塚の 樹木やドングリなどを展示。 資料点数：9点 入館者数：7,954人
	「あれもE これもE -加曽利E式土器- (総括編)」 (企画展示スペース)	10月8日(火)～ 3月2日(日)	平成30年度より実施してきた「あれもE これもE-加曽利E式土器」の総括展示。県内全域の加曽利E式土器の資料を中心に、縄文文化における土器型式の変遷や文化の移り変わりなどを解説した展示。 資料点数：73点 入館者数：20,410人
	「特別史跡加曽利貝塚 令和6年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース)	3月18日(火)～ 6月29日(日)	令和6年9月～12月にかけて実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘の成果を紹介。 資料点数：144点 入館者数：21,287人 ※3月分は1,777人
(5) 教 育 普 及 事 業	ア 講座・イベント		
	縄文ひろば	4月14日・28日 5月12日 7月14日 8月17日 9月8日・22日 10月13日・27日 11月10日・24日 12月8日 1月26日 2月9日・23日 3月9日・3月23日 の各日曜日(但し8 月17日は土曜日) 計17回	火おこし体験、紙芝居、貝アクセサリ作り、復元住居公開・火焚きの実施、史跡公園内ガイドツアー等を実施。 参加人数：延べ6,893人
	縄文春まつり	5月3日(金)・4日 (土)・5日(日)	縄文工作体験(組みひもづくり体験・土偶ペーパークラフト他)、発掘調査体験、縄文不思議発見の旅、加曽利クエストなどを実施 参加人数：7,713人
	自然観察ワークショップ	5月25日(土)	加曽利貝塚の自然を活かしたワークショップ。 指導者を迎え、園内の自然観察を行う。 参加人数：延べ12人

夏休み縄文ウィーク	8月14日(水)・15日(木)・17日(土)・18日(日)	組みひもづくり、土偶ペーパークラフト、縄文万華鏡づくり、発掘調査体験など。 参加人数：延べ344人
縄文秋まつり	11月2日(土)・3日(日)	縄文工作体験(組みひもづくり体験・土偶ペーパークラフト他)、発掘調査体験、縄文不思議発見の旅、加曽利クエストなど。 参加人数：3,810人
加曽利ウォーク	3月22日(土)	市内文化財を歩いて巡る講座。令和6年度は加曽利貝塚周辺を対象とした。 参加人数：9人
縄文時代研究講座	12月14日・22日 1月18日・25日 2月15日・22日の各土曜日(但し12月22日は日曜日) ※第5回2月15日は講師都合で中止	一般市民向けの初級から中級の講座。 第1回「あれもEこれもE 加曽利E式土器 総括編」 講師：長原 亘(当館職員) 第2回「縄文時代の墓壇を考える―養安寺遺跡を中心に―」 講師：齋藤修佑(当館職員) 第3回「印旛地域の加曽利E式期の諸様相」 講師：小倉和重(佐倉市魅力推進部文化課) 第4回「縄文時代の貝塚とゴミの概念」 講師：山内将輝(公益財団法人千葉県教育振興財団文化財センター) 第5回「流山市の中期後半の遺跡と加曽利E式土器について」 講師：小川勝和(流山市立博物館) 第6回「君津市芋窪原遺跡を掘る」 講師：平原信崇(千葉県教育庁教育振興部文化財課) 参加人数：延べ180人
特別研究講座 加曽利貝塚E地点・B地点発掘100周年記念シンポジウム 「加曽利E式土器の再検討」	11月23日(土)・24日(日)	日本考古学研究の最前線で活躍する研究者を講師に迎え、加曽利E式土器および関係する土器についての編年研究の現状と課題を明らかにして、今後の研究の方向性を探る。 このシンポジウムを通して研究者だけでなく広く市民にも最先端の研究に触れていただき、考古学に対する知識や関心を深めてもらうことを目的とする。 一般市民の参加が可能な研究者向けの講座。 『加曽利貝塚E地点・B地点発掘100周年記念シンポジウム「加曽利E式土器の再検討」』 ・「加曽利E式土器の細分になぜ混乱が生じたのか？」 青笹早季(当館職員) ・「山内清男の加曽利E式土器と「中峠式土器」

		<p>大村 裕（下総考古学研究会代表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「縄文中期加曽利 E 式土器の型式編年と年代（基調講演）」 <p>小林謙一（中央大学文学部教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「房総の加曽利 E 式期前半の土器について」 <p>館祐樹（公益財団法人千葉県教育振興財団文化財センター調査第一課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南武蔵・相模における加曽利 E 式「古い部分」～その細別観点と表記について～」 <p>黒尾和久（国立重監房資料館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関東地方北東部における加曽利 E 式出現期の土器様相」 <p>塚本師也（益子町教育委員会生涯学習課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「房総の曾利式系土器ー加曽利 E 3 式に伴う斜行文・重弧文土器を中心にー」 <p>大内千年（千葉県教育庁教育振興部文化財課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「房総の連弧文（系）土器について」 <p>大網信良（公益財団法人東京都教育支援機構東京都埋蔵文化財センター調査研究部調査課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「下総台地における加曽利 EⅢ・Ⅳ式土器の編年学的研究の現状と課題」 <p>加納実（千葉県教育庁教育振興部文化財課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「房総における中期末葉から後期初頭の土器様相」 <p>小澤政彦（千葉県教育庁教育振興部文化財課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「加曽利 E 系列の土器群（続）ー加曽利 E 式の堀之内式への継承ー」 <p>稲村晃嗣（株式会社四門文化財）</p> <p style="text-align: right;">参加人数：416 人</p>
加曽利貝塚博物館・市原歴史博物館 連携講座	8 月 31 日(土)	<p>令和 5 年 2 月に締結した市原歴史博物館との連携協定の取り組みの一つとしての連携講座。令和 6 年度は、「考古学の造形ー土偶と埴輪ー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県の土偶ー顔面に着目してー」 安井健一（公益財団法人千葉県教育振興財団文化財センター） ・「縄文時代の動物形土製品」 飯島史尊（千葉市教育委員会文化財課） ・「ハニワの顔と工人集団」 萩原恭一（公益財団法人千葉県教育振興財団 千葉県立房総のむら） <p style="text-align: right;">参加人数：109 人</p>

考古学基礎講座	3月 日(土)	一般市民向けの初級から中級の講座。 「動物の骨が語る世界」 服部智至（千葉市教育委員会文化財課） 参加人数：47人
外部委託による体験プログラム	4月～3月 土・日曜日・祝日 計84回実施 発掘体験11回 ゲーム塾64回 体験学習9回	発掘調査体験、レプリカ工房、縄文ゲーム塾（縄文将棋・イボキサ碁）、イノシシの駒づくり、体験学習（組みひもづくり・土偶ペーパークラフトなど） 参加人数：延べ6,589人
外部イベントでの啓発	10月19日(土) 11月3日(日) 11月10日(日) 12月7日(土)	各所で開催されたイベントへ参加し、加曽利貝塚のPRを実施。 ・モノレールまつり（千葉都市モノレール本社） ・若葉区民まつり（東京情報大学） ・読書まつり（中央図書館） ・まなびフェスタ（生涯学習センター）
イ 小学校・団体見学		
小学校・中学校 高等学校 ※令和6年度は、高等学校の利用なし	通 年	市内小学校24校、市外小・中学校13校が社会科見学等で来場。史跡内各所の解説および火おこし体験などの学習を指導。 ※ワークシートなども活用
団体	通 年	令和6年度は、計35件の一般団体の見学に対応した。
ウ 講師派遣	6月12日(水) 10月29日(火) 11月29日(金) 12月7日(土) 1月18日(土) 2月1日(土)	職員が各施設に出張して加曽利貝塚について講義・講演を実施。 ・大学講義ゲストスピーカー（東都大学） ・公民館講座（幕張公民館） ・千葉市図書館情報ネットワーク協議会 ・公民館講座（千城台コミュニティセンター） ・公民館講座（川戸公民館） ・図書館講座（みやこ図書館） 派遣回数：6回
エ 出張展示	4月27日(土)～ 5月7日(日) 9月10日(火)～ 9月16日(月) 10月8日(火)～	組織的な依頼があった場合、加曽利貝塚のPRを行うための出張展示を実施。 ・千葉市生涯学習センター（千葉市教育振興財団） ・稲浜ショップ（千葉経済開発公社） ・高洲ショッピングセンター（千葉経済開発公社）

○郷土博物館

1 入 館 状 況

年度	開館日数（日）	来館者数（人）	備考
令和4年度	309	56, 522	
令和5年度	309	49, 593	
令和6年度	156	26, 452	リニューアルのため9月30日から休館

2 事 業 実 績

	事業内容	実施期間	説 明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通 年	トイレ改修工事 照明設備更新実施設計 本館エレベーター改修工事（保全一元化予算）
	ウ 展示リニューアル	通 年	館内の展示リニューアルを進めた。 ～令和7年10月末 ・展示リニューアルのコンセプト 「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズムがわかる博物館への再生」 ・展示テーマ 陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通 年	展示・研究等に必要な資料の収集を行った。 鉄帽など57点の寄贈等を受け、資料として登録した。 他に、展示用の在来馬の模型を製作した。
	イ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業を行い、基本カードの再確認、資料のデジタル撮影を進めた。また、他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ① 資料貸出 4件 19点 ② 資料館内利用 2件 10点 ③ 写真貸出・掲載 27件 108点

	ウ 新規収蔵資料 燻蒸	2 月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料等の燻蒸を行った。
	エ 収蔵庫・展示室 等環境調査	7 月～10 月	本館及び収蔵庫について、展示・収蔵環境の現状を多角的に把握し、展示・収蔵資料のよりよい保存環境を整備するために環境調査を実施した。
(3) 調 査 研 究 事 業	ア 館内調査研究	通 年	企画展等に伴う資料調査を実施した。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	当館所蔵の民俗資料等（主に信仰関係）の調査を行った。
	ウ 千葉氏関係資料 調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査し、一部を研究紀要に掲載した。また、令和 7 年度末に刊行予定の『千葉氏関係資料集』の編集作業を進めた。 ・香取市清宮家、香取神宮の調査 ・京都府の調査
	エ 『研究紀要』の 発行	3 月	『研究紀要』第 3 1 号の発行 A4 判 56 ページ 5 0 0 部 ・千葉氏関係史料調査会調査概報（七） ・出羽三山信仰の今昔
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	9 月まで	千葉市に関わる歴史資料の展示 1 階 歴史年表、千葉市に関するミニ展示など。 2 階 所蔵資料にみる日本の武器・武具 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収 3 階 千葉氏の興亡と妙見信仰 4 階 近現代の千葉 5 階 展望室（パネル展示など）
	イ 企画展 パネル展「千葉氏を めぐる水の物語」 （1 階展示室）	5 月 28 日(火)～9 月 30 日(日)	近世以前の人々の生活が海や河川など「水」と深い関わりをもっていたことに注目し、市域の河川と海・池からなる「水の世界」と千葉氏との関係を歴史的・文化的な視点から展示した。 資料点数： 14 点 入館者数：12,148 人

(5) 教 育 普 及 事 業	ア 講座・イベント		
	鎧やむかしの着物の着用体験	毎月第3土曜日 ※9月まで	<p>中世の鎧を身に着けて、その重さや動きやすさなどを体験することで、歴史を親しみながら学ぶ機会とした。</p> <p>参加人数：117人</p>
	ちょっと昔の遊び体験	毎月第2土曜日 ※9月まで	<p>かざぐるまやぶんぶんゴマづくり、折り紙など昔なつかしい作って遊ぶ体験</p> <p>参加人数：368人</p>
	火縄銃演武	8月18日(日)	<p>火縄銃の実射(空砲)や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で学べる火縄銃演武を行った。</p> <p>参加人数：120人</p>
	千葉氏公開市民講座	6月29日(土) 12月14日(土)	<p>6月29日は蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分室を会場に下記の内容で開催した。</p> <p>「武士の起源について」 講師：桃崎有一郎(武蔵大学人文学部教授)</p> <p>参加人数：146人</p> <p>講演録を千葉氏ポータルサイトで公開</p> <p>12月14日は千葉大学と共催で、千葉大学弥生キャンパス内けやき会館で「千葉氏以前の「ちば」／千葉氏以降の「ちば」－考古学と近世史の成果から－」を全体テーマに開催した。</p> <p>講演1 「都川流域と村田川流域の古墳時代」 講師：山田 俊輔(千葉大学大学院人文科学研究院教授)</p> <p>講演2 「近世の千葉町～妙見寺と商品流通」 講師：笹川 裕(千葉県文書館古文書調査員)</p> <p>参加人数：168人</p> <p>映像：千葉氏ポータルサイトで公開 講演録：A4判 54ページ 500部</p>

イ	学校・団体見学		
	出前授業	通 年	郷土の歴史について、市内小中学校からの依頼に対し出前授業を行った。 実施校数：9 校（39 学級、1,103 人）
	学校見学	8 月まで	市内小中学校 3 校、市外小中学校 1 校が社会科見学で来館した。 ※ワークシート等を活用。
	団体見学	8 月まで	来館した 12 団体に対してボランティアによる展示解説を行った。
エ	講師派遣	通 年	施設や団体等からの依頼に応じて、職員が出張し、館外で郷土史に関する講義を実施した。
		6 月 1 日（土）	ちば開府まつり（本町公園）
		8 月 21 日（水）	幕張地元学講座（幕張公民館）
		10 月 5 日（土）	歴史講座（緑図書館）
		11 月 16 日（土）	記念シンポジウム（上総地域交流センター）
		11 月 17 日（日）	江戸東京博物館友の会（日比谷図書文化館）
		11 月 29 日（金）	佐倉市民カレッジ（佐倉市立中央公民館）
		1 月 19 日（日）	印旛歴史民俗資料館講演会（印旛公民館）
		2 月 2 日（日）	歴史講演会（佐倉市立美術館）
		2 月 22 日（土）	歴史講座（美浜図書館）
		3 月 9 日（日）	佐倉学入門講座（印旛弥富公民館）
		3 月 22 日（土）	中央区地域リーダー研修（中央区役所）
		他に市政出前講座	①千葉開府 900 年に向けて、千葉氏を知ろう ②郷土博物館ってどんなところ
		7 月 13 日（土）	三和会館（中央区汐見丘町）①
		7 月 16 日（火）	磯部西住宅集会所①
		10 月 31 日（木）	長作公民館①
カ	職場体験の受け入れ		R6 年度は希望なし。
	博物館実習の受け入れ	8 月 17 日（土）～ 23 日（金）	学芸員課程履修中の学生 5 人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、資料の整理、資料の取扱、教育普及事業の補助などを行った。

	キ 博物館ボランティアの育成・活用	9月まで	<p>博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。</p> <p>活動内容：館内の展示解説</p> <p>活動日時：開館日</p> <p>10時30分～12時 12時～13時30分</p> <p>13時30分～3時</p> <p>他に見学団体からの要請に対応</p> <p>※9月まで</p> <p>登録人数 53人</p> <p>解説回数：859回、参加者数：2,008人</p>
		<p>基礎講座（6月11・18・25日に6講座）</p> <p>専門講座</p> <p>展示解説実習</p>	<p>○育成関係</p> <p>基礎講座：ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。</p> <p>※R6は当館からの受講者なし。</p> <p>専門講座：千葉市の歴史に関する専門的な知識の習得を目的に郷土博物館で実施。</p> <p>展示解説実習：展示解説の実際を知るための実習。</p> <p>※R6は休館中のため実施せず。</p>
(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通 年	<p>千葉市域に係る歴史資料の調査を通年で実施した。</p> <p>①市場町 和田文書（4次分追加）</p> <p>②千葉寺町 千葉寺文書（2次分）</p> <p>③柏井町 小川家文書（7次分） 他</p>
	イ 史料編の編集	通 年	『千葉市史 史料編 近現代』第3巻目刊行のための編集作業を行った。
	ウ 千葉市史研究講座		<p>「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説した。</p> <p>対 象：一般（定員：200人）</p> <p>会 場：千葉市生涯学習センター2階ホール</p>
	第1回	10月12日(土)	<p>講演1 「弥生時代の千葉県北部域 ～激動の農耕社会をさぐる～」</p> <p>講師：轟直行氏（川越市教育委員会文化財保護課）</p> <p>講演2 「もう一つの千葉介「武蔵千葉氏」について」</p>

	第2回	10月19日(土)	<p>講師：佐藤貴浩氏（足立区生涯学習支援室地域文化課） 参加人数：125人</p> <p>講演1 「近世房総の山間村落ー上総国山辺郡小山村の諸相ー」 講師：後藤雅知氏（立教大学文学部教授）</p> <p>講演2 「千葉市の近代建築を知るー残ったたても、失われたたても」 講師：渡邊義孝氏（風組・渡邊設計室） 参加人数：114人</p>
	オ 初級古文書講座	7月28日(日) 8月3日(土) 8月10日(土) 8月12日(月) 8月25日(日) 8月31日(土) (全6回)	<p>古文書の解読を通じて、江戸時代の郷土への理解を深める。(午前コースと午後コースを実施、定員を各24人とした)</p> <p>テーマ：江戸時代の村の史料を読む</p> <p>講師：小代 渉氏（榊東京堂出版編集部）</p> <p>参加者数：延 268人</p>
	カ 中級古文書講座	6月25日(火) 7月2日(火) 7月17日(水) 7月24日(水) 7月25日(木) 7月31日(水) (全6回)	<p>初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける講座。</p> <p>テーマ：江戸時代の村の史料を読む</p> <p>講師：後藤雅知氏（立教大学文学部教授）</p> <p>定 員：24人</p> <p>参加者数：延べ 127人</p>
	キ 『千葉いまむかし』の発行	3月	<p>『千葉いまむかし』38号の発行</p> <p>B5判 80ページ 700部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙上古文書講座 曾我野村に建てられた陣屋 ・千葉市の弥生土器・石器ー猪鼻城跡ー（補遺） ・鳥取藩の印旛沼堀割普請と大坂両替商 ・大正時代における「民衆の警察化」と保安組合 ・令和6年度千葉市史研究講座要旨 他
	ク ニュースレターの発行	9月、3月 (年2回)	<p>ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行</p> <p>千葉市史編さんの状況を紹介するため9月と3月に発行した。各2,000部</p>
	ケ 市史協力員の活動	9月まで	<p>古文書整理ボランティア 8人(18回)</p> <p>新聞記事データベース入力の活動 4人(81回)</p>

(7) 協 議 会	ア 千葉市立博物館 協議会	8 月 1 日(木)	第 1 回 ・令和 5 年度の事業報告について
		3 月 7 日 (金)	第 2 回 ・令和 7 年度の予算と事業予定について
(8) そ の 他	ア 千葉県博物館協 会	5 月 22 日(水)	総会 (千葉県立中央博物館)
	イ 関東博物館協会	5 月 29 日(水)	総会 (埼玉県立歴史と民俗の博物館)
	ウ 日本博物館協会	11 月 27 日(水) ～29 日(金)	第 71 回全国博物館大会 (松本市) ※参加せず
	エ 全国歴史民俗系 博物館協議会	7 月 4 日 (木) ～ 7 月 5 日 (金)	年次集会 ※参加せず

【博物館法】

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 [博物館法\(昭和26年法律第285号\)第23条第1項](#)の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 [博物館法第24条](#)の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

(1) 学校教育の関係者

(2) 社会教育の関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例23・令和5条例11・一部改正)

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和7年1月9日～令和9年1月8日

委 員 名	現職など	専門分野
かわじり あきお 川 尻 秋生	早稲田大学文学学術院教授	日本古代史
しまだて り こ 島 立 理子	千葉県立中央博物館資料管理課長	民俗学 博物館地域連携
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
ひろた なおゆき 広田 直 行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画
ほその まさこ 細野 正子	千葉市立美浜打瀬小学校校長	学校教育

令和7年3月現在（50音順）